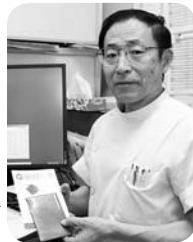


★ここが知りたい！★ 米沢市立病院紹介

☆内科(糖尿病・内分泌内科)編☆

糖尿病の患者さんは年々増え続けています。厚生労働省の調査によれば、平成19年に糖尿病及び糖尿病が強く疑われる患者さんは2千万人を超えています。合併症の早期発見と地域糖尿病診療のレベルアップを補助するために構築された「米沢市立病院糖尿病地域連携パス(以下 連携パス)」について、第一診療部長の八幡芳和医師(写真:右)にお話を聞いてみましょう。



糖尿病連携手帳 →

Q 連携パスについて教えてください。

A 連携パスは、かかりつけ医の先生と当院の糖尿病専門医が連携して、患者さんの治療経過等を共有する診療計画表です。また、患者さんには私が手に持っている糖尿病連携手帳をお渡ししています。

Q 連携パスを活用した診療は、どのような流れで行われますか？

A 当院の治療で状態が安定した患者さんには、かかりつけ医・地域の先生を紹介して継続治療を受けていただいています。継続治療が6か月経過するごとに当院で受診。定期検査(四肢動脈硬化検査、頸動脈・心臓超音波検査、腹部CT検査等)、専門職による生活・栄養・服薬指導を行い、最後に糖尿病専門医による診察(総合判定指導)を行います。費用は窓口負担3割の人で約15,000円。検査終了後は、またかかりつけ医での継続治療を受けていただきます。このように、かかりつけ医と当院とを往復する共同診察によって、急性期で状態が不安定な患者さんの治療と合併症の早期発見に取り組んでいます。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎ 22-2450 ◆ホームページ／ <http://yonezawa-city-hospital.jp/>

※「ここが知りたい！米沢市立病院紹介」は、毎月1日号に掲載します(10回連載)。